



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

進路の選択は、生き方の選択なり！
～たとえ勉強が出来なくても、人生最後まで頑張れば100点満点～

校長 澤田 純一

6月には、3年生は修学旅行、2年生は東京学習、そして1年生は川越学習という大きな行事がありました。自分たちで計画を立て、仲間と協力しながら実施していくという、まさに「生きる力」が試された行事でした。私の感想は、準備から当日の行動まで、大変よく出来たと思います。「やれば、できるじゃないか！」と皆さんにお伝えします。

さて、楽しい思い出となった校外学習も終わり、今後は進路学習が始まります。進路学習とは、この先、皆さんがどのように生きていくかという大きな夢をもち、その夢に時間を付けて目標とし、その実現に向けて力強く生きていくことなのです。

先日、PTAの方と高校見学をしました。その時、高校の先生が言っていた事を紹介します。「例えば、調理学校に進学したとしましょう。そこで調理師免許を取得して美容師になる人はいませんね。また、医学部を選択して合格したとしましょう。この人は医者になるんだと思います。調理師にはなりませんね。」このように、進路の選択は一生を決めると言っても過言ではありません。そして将来の事を考えて義務教育最後の中学校生活を送ることが大切であるとも言えなくもありません。

しかし、まだ将来の事は決められないという生徒もいると思います。また、勉強が苦手で、自分の将来に夢をもてない人もいると思います。大丈夫です。そんな人たちに、私の話をしましょう。

私は、中学生、高校生と特に何かに秀でたものではなく、勉強が苦手というより大嫌いな生徒でした。大人になって働く日が来ることなんて想像もできませんでした。もちろん、自分に自信をもてたことはありません。そんな私もいつしか高校3年生になり、大学進学を志望しました。父は浪人をしないことを条件に、大学受験を許してくれました。しかし、結果は全て不合格でした。私は父と約束した通り、就職することになりましたが、それでも大学に行きたかった私は、昼間は働き、そこで得た収入で大学の夜間部に通う道を選択しました。それに加え剣道部に入部しました。毎日、朝から夜中まで、働いて勉強して剣道をしてという生活が4年間続きました。そんなある日、私は気づきました。これが私の生き方だと。昼間の大学に行くことだけが人生ではないと。大学生活は苦しい4年間でしたが「やれば、できるじゃないか！」と生まれて初めて自分に自信をもてた時でした。そして、この自信という自分の心に火が付いたことが、後の人生に大きく影響しました。それは、警視庁に就職した時も、そして警視庁をやめて再び教員を志し大学に通った時も苦しいことの連続でしたが、大学時代を思い出しながら、なんとか踏ん張ることができました。遠回りをし、教員になった時は29歳になっていました。

人間には、早稲の人も晩成の人もいます。それでいいのです。いかに生きるかが大切なのです。浪人を許さなかった父が他界して27年が経ちますが、まさか、あの馬鹿息子が校長をしていて大丈夫かなと天国でハラハラしていることでしょう。むしろ、私はこの職に、生きがいと誇りをもっています。なので「父ちゃん、今日も元気でやっているよ。心配ご無用。」と校長室の窓越しに空へ向かって心でつぶやきながら仕事をしています。「夢ひとすじに……」皆さんの生き方に期待します。